

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成24年5月
第130号

あじがさわ

発行…青森県鰹ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰹ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



桜花爛漫。麗らかな日差しのもと、満開の桜の下でお食事会（鰹ヶ沢保育所にて）

議会新組織
特集号

- 2 12人による議会活動スタート
- 3 議長・副議長就任あいさつ
- 4 議会の新構成決まる
- 5 町議会一般選挙開票結果ほか
- 6 平成24年度一般会計予算
- 7 3月議会概要
- 8～9 一般質問（鶴田・一戸議員）
- 10 特集・地区連合組織会長に聞く

活動スタート

改選後初の 臨時会召集

議長に新保勝敏議員 副議長に一戸千代久議員を選出

鯉ヶ沢町議会では、四月十日、改選後初の臨時会を開き、議長に新保勝敏議員、副議長に一戸千代久議員を選出。また、各常任委員、議会運営委員などを選出し、議会の構成を決定しました。(構成は、四ページに掲載しています。)

議長は投票 により選出

議長選挙は、議場において指名推薦ではなく投票により行われました。その結果、十二票のうち新保勝敏議員が七票、神孝議員が五票。副議長選挙では、同じく十二票のうち一戸千代久議員が七票、見崎清議員が五票という結果でした。

改選後の議員の顔ぶれ

 62歳 当選1回	渋谷 正義	 43歳 当選1回	長谷川 統一	 36歳 当選1回	東條 一彦
 63歳 当選5回	神 孝	 60歳 当選4回	今 勝義	 70歳 当選3回	一戸千代久
 68歳 当選5回	見崎 清	 58歳 当選5回	齋藤 孝夫	 79歳 当選5回	鶴田 悦子
 65歳 当選4回	新保 勝敏	 58歳 当選9回	坂牛 淳治	 71歳 当選5回	世永 富也

12人による4年間の議会

町政への関心低下に危機感

町民本位のまちづくりを推進



議長
新保 勝敏

平成二十四年四月十日に開会された鱈ヶ沢町議会第一回臨時会において議長に選出され、その重責を担うことになりました。改めまして、その責任の重さに身が引き締まる次第です。

さて、町議会では、行政と一体となり財政健全化に向けて、事務事業の見直し、公共施設への指定管理者制度の導入、更には人件費全般にわたる削減等に努めて参りました。その間、議会としても議員定数の削減や期末手当の全額カットなど、議員自らも財政健全化に向けて努力して参りました。

た。しかしながら、議会としての発進力の足りなさ、また、個々の政策課題に対する町民への説明不足などにより、議会に対する町民の信頼が薄れ、町政への関心が低下している現状に大きな危機感を持っております。

今後は、議会として各種団体及び町民個々としっかりと討議や意見交換をする機会を増やします。浅学非才ではありますが、町民本位のまちづくり推進のため努力して参りますので、町民各位の特段のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。

地方自治は超難題に直面

政策を競い合い行政と議論

副議長
一戸千代久



花のときも過ぎて新緑があざやかに目に映る頃になりました。町民の皆様、日々のご奮闘ご苦勞さまで。

今、地方自治は超難題に直面しております。財政難はもとより、農林漁業の衰退とあいまって若者の定着できない超高齢社会が迫っております。

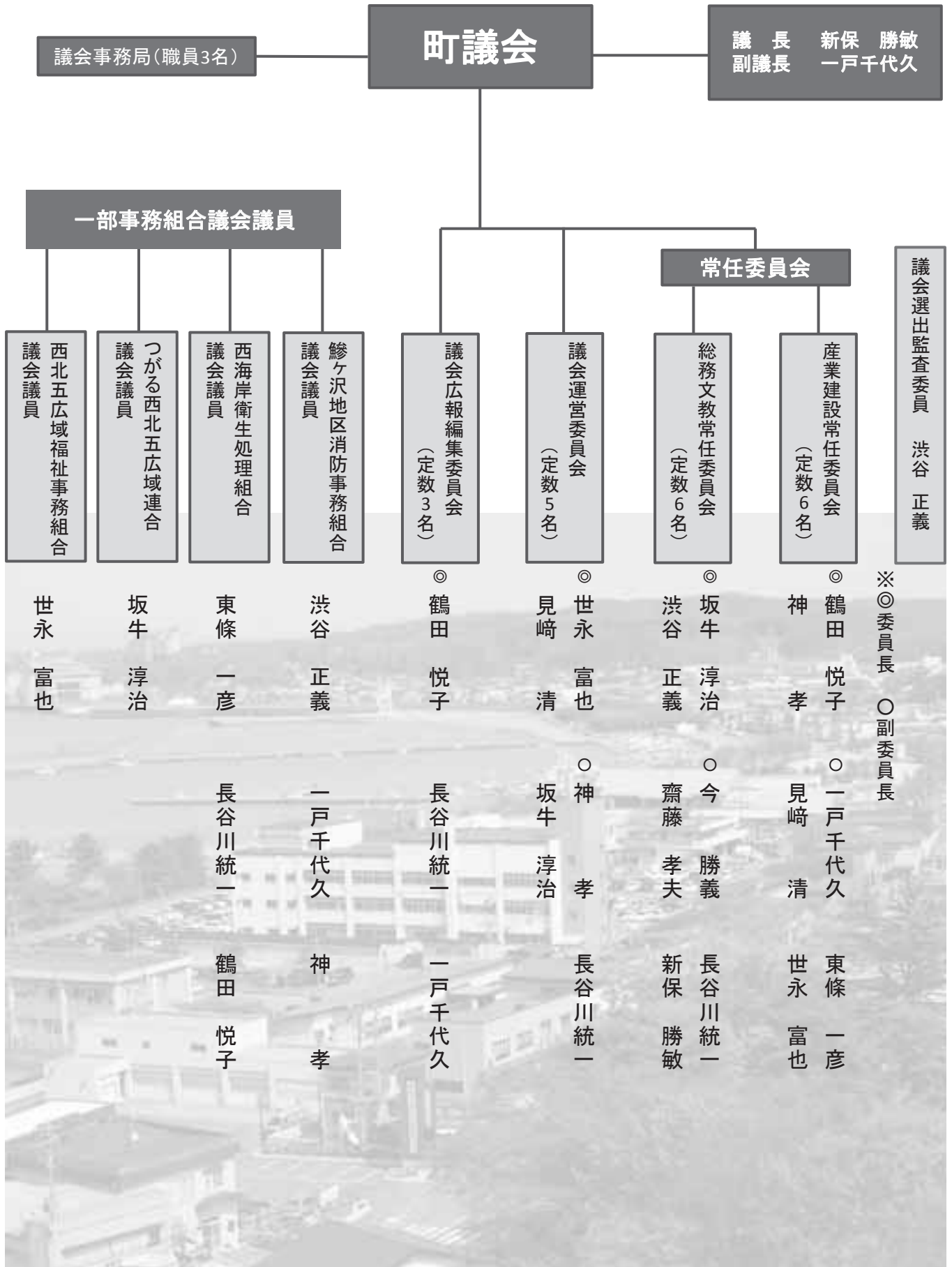
二元代表制の一翼を担う議会の役割も益々重要に思われます。監視機能の強化とともに政策を競い合って、行政執行部と議論することも必要に思われます。町民の意見、視点を広くくみ上げるためにも議会開催時の検討、議会報告会などの実施に努力いたします。

この度、議会の推挙をいただき、副議長の重任を拝することになりました。責務と使命の重さをしっかりと心身に受け止めて一層の議会活動に精進してまいります。

維持できなくなるばかりか、多くの人々の生活基

上げます。町民の皆様、一層の助言、ご協力をお願い申し上げます。

議会の新構成決まる





本会議場で改めて表彰を受ける5名の議員



今冬の豪雪により予算もかさむ

二ページでもお知らせしたとおり、改選後初の臨時会が四月十日開かれまし
た。本臨時会では、正副議長の選挙、
常任委員の選出などが行われた後、
上程された監査委員及び副町長の選
任、専決処分承認の三議案について
審議を行った結果、いずれも全会一
致で同意、承認されました。議案の内
容は、次のとおりです。

平成24年 第1回臨時会

監査委員に渋谷正義議員を選任

■監査委員の選任

議員のうちから選任さ

れている監査委員の戸
千代久氏の任期満了に伴
い、その後任に渋谷正義
氏を選任するもの。

■副町長の選任

副町長の長内仁氏の任
期満了に伴い、引き続き
同氏を選任するもの。

■専決処分の承認

平成二十三年度町一般

会計、特別会計補正予算
など。

主なものは、一般会計
除雪対策費五千四百五十
五万円の増額など。

※町では、除雪対策費と
して三月定例会で承認さ
れた三千万円と今回を合
わせ八千四百五十五万円
の増額補正を行い、今冬
の大雪に対処したことに
なります。

六名が自治功労表彰

このたび、今勝義議

員、新保勝敏議員の二名
が青森県町村議会議長会
から、また、見崎清議
員、今村魁次議員、世永
富也議員、齋藤孝夫議員
の四名が全国町村議会議
長会から自治功労表彰を

受けました。

表彰状の伝達は、三月
定例会開会日に本会議場
において行われ、齋藤議
長から五名に直接、表彰
状が手渡されました。
この表彰は、長年、議
員活動を通じて地方自治

ひとくち解説

改選後はじめて

開かれる議会の

議長は？

改選後はじめて開かれ
る議会では、議長が決
まっていないため出席し
ている議員のうちの最年
長者が、議長選挙が終了
するまで仮議長を務める
ことになっています。こ
れは地方自治法百七条の
規定によるものです。
今回の臨時会では、は
じめに臨時議長として鶴
田悦子議員が、議長選挙
が終わるまでその職務を
行いました。

【開票結果】

得票数	当選者
1,181	川条 一彦
942	東条 悦子
617	鶴田 治淳
591	坂牛 清
570	見崎 千代久
564	新一 敏孝
541	新保 孝夫
523	神藤 正義
502	齋藤 正富
500	渋谷 永也
391	世永 勝義
382	今勝 義
297	次点 (現職) 寺澤 松

鱒ヶ沢町議会一般選挙

開票結果

任期満了に伴う鱒ヶ沢町議会一般選挙が3月20日、告示され、定数12人に対し新人3人、現職10人の計13人が立候補の届け出をしました。投票は、3月25日に行われ、即日開票の結果、12人の当選が決定しました。

投票日当日の有権者数は10,068人、投票者数は7,664人で投票率は76.12%でした。投票率は、前回行われた平成16年の選挙(平成20年は無投票)よりも9.27ポイント、マイナスとなりました。なお、開票結果は、左記のとおりです。



平成二十三年第一回定例会(二月定例会)が、二月二十二日から三月五日までの会期で行われました。

初日には、東條町長が施政方針として新年度における町政の基本的施策を表明。また、平成二十四年度の十一会計の当初予算をはじめ、平成二十三年度補正予算、人事案件、条例の一部改正案、意見書案など四十一件が上程されました。

最終日の三月五日には、討論、採決が行われ、議員発議及び追加上程された一件を含む四十三件が原案どおり全会一致で可決・同意・承認されました。

一般質問では、鶴田、一戸議員の二人が町政の諸問題について町側に答弁を求めました。

平成24年度 64億7,000万円を可決

一般会計予算 実質収支赤字解消を目標に緊縮編成

予算の内容

予算の規模は、一般会計及び9つの特別会計並びに水道事業合わせて107億5758万円となり、昨年度であった町立中央病院事業を除くと前年度に対し1億1269万円の減額(マイナス1.0%)となりました。

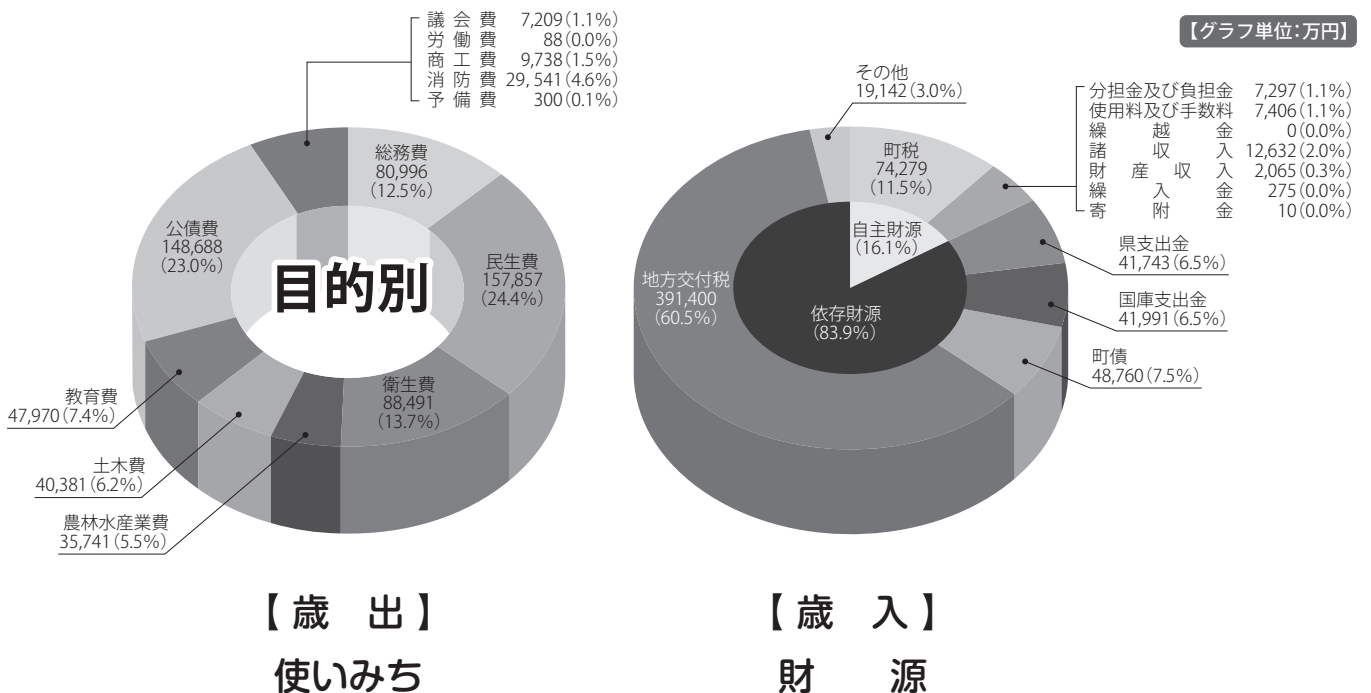
一般会計は、総額64億7000万円、前年度に対し5000万円の減額(マイナス0.8%)となりました。

町税の総額は7億4279万円(前年度より4846万円の減)で、歳入に占める割合は11.5%となっています。歳出の主なものは、24年度から広域連合に移管した鯉ヶ沢病院の運営負担金3億5000万円などがあります。

当町の一般会計当初予算は、昨年度、4年連続の赤字予算を回避したものの未だに2億781万円(3月専決時点)の累積赤字を抱えています。平成25年度を目標に赤字解消を図ることを目標にしていますが、当面、歳出削減など厳しい財政運営を強いられることとなります。

※額をわかりやすくするため、数字は算数字にしています。

一般会計予算の割合



常任委員会の審査を経て

平成24年度 9 特別会計・1 企業会計予算を可決



予算特別委員会の審議風景

3月定例会は、新年度の予算を決定する議会です。議会が予算案を可決しなければ新年度予算が執行不能ともなる重要な定例会と言えます。一般会計当初予算は、議員全員で構成される予算特別委員会で、特別会計・企業会計（条例改正案、意見書案等含む）の予算案は、分野ごとに総務文教常任委員会、産業建設常任委員会で審議されます。審議された内容は、最終日に本会議においてそれぞれの委員長が報告。再度、討論が行われ、採決されます。各会計新年度予算など3月定例会で決まった主な内容は、下記のとおりです。

- ◎主な議案
 - 町課設置条例の一部を改正する条例
 - 財政対策室を廃止し、二十四年度からその事務を政策推進課へ移管するもの。
 - 公の施設の指定管理者の指定
 - 平成二十一年度から指定管理者の指定を行ってきた施設の指定管理期間が、平成二十三年度をもって満了することから新たに指定を行うもの。
 - 各施設の指定管理期間は、平成二十四年度から平成二十七年までの三年間となっています。主な施設の指定管理者は、次のとおりです。
 - 大高山総合公園・町斎場・町墓苑
 - ↓ みちのく建物管理（指定管理料（二年間）は、大高山総合公園が九百万円、町斎場が二百万円、町墓苑が〇円）
 - 以下の施設は、指定管理料なし。
 - 長平青少年旅行村
 - ↓ マルイチ工業
 - 白神キャンプ場
 - ↓ 熊の湯温泉
 - ミニ白神・海の駅
 - ↓ 町観光協会
 - 総合保健福祉センター
 - ↓ 町社会福祉協議会
 - 町監査委員の選任
 - 町監査委員である増田晶夫氏を再任。任期は四年。
 - 専決を求めることについて
 - 専決第一号 平成二十三年度町一般会計補正予算 今冬の大雪により除雪対策費を増額。補正額は、三千万円。
 - ◎議員発議
 - 町議会委員会条例の一部改正
 - 議員定数の改正に伴い、総務文教常任委員会の委員定数を七人から六人にするもの。
 - ◎意見書案
 - 公的年金二・五%の引き下げに反対する意見書
 - TPPへの参加反対を求める意見書

平成24年度一般・特別・企業会計予算

単位：万円

会 計 名	本年度予算額	前年度予算額	対前年度伸率 (%)
一 般 会 計	647,000	652,000	-0.8
以下 特別 会 計			
国民健康保険事業	193,400	197,400	-2.0
簡易水道事業	15,329	15,222	0.7
農業集落排水事業	12,308	12,246	0.5
小規模水道事業	378	397	-4.8
公共下水道事業	19,243	19,942	-3.5
介護保険事業	148,209	145,479	1.9
墓地公園事業	19	29	-34.5
後期高齢者医療	11,754	11,845	-0.8
水産業振興事業	2,465	2,346	5.1
以下 企業 会 計			
水道事業	25,653	30,121	-14.8
全 合 計	1,075,758	1,087,027	-1.0

委員会
審 査

原 案
どおり
可 決

成 立

※昨年まであった町立中央病院事業は、広域連合に移管したため廃止となりました。



一戸千代久議員

冬の農業の取組現況は

問・日本の農業人口は、一九八五年の五百四十三万人から二〇一〇年は、二百六十一万人と二十五年で半数になりました。高齢化も進み、六十五歳以上が六割を占めます。欧米に比して日本の就農者の高齢化は突出しています。

高齡化と担い手不足から耕作放棄地が増え、一〇年の耕作放棄地面積は三十九万六千ヘクタールと一九八五年の三倍と拡大しています。これほど就職難になりながら農業への就農者が増えない理由は農産物の低価格と農業では生活できないからです。政府は環太平洋経済連携協定、TPPへの参加

冬の農業のグループ化推進を 〈答 県・生産者部会と話し合い検討〉

を前提にして、昨年十月

答弁・産業振興課長

冷蔵庫を使って継続出荷

に農業再生計画を作りました。骨子は水田農業の規模を平地で二十から三十

平成十四年度あたりから県の補助事業を使いハウスの整備をしていま

している方もいます。漬物など加工品の出荷をしている方もあります。

十ヘクタールに、中山間地で十から二十ヘクタールに広げる。六次産業化の推進とか食料自給率を現在の三十九%から五十

す。ハウスでほうれん草などの葉物類を栽培して、海の駅わんどで販売しているのが主流となっています。そのほかにベ

問・冬場に継続して行うことにより成果は現れていますか。

%にする方針のようです。青森県は平成二十四年度から二十六年程度までの冬の農業拡大計画を昨年

販売している方、花き、きのこ類を市場に出荷している方などがありま

答弁・産業振興課長 当町には幸いにして海の駅わんどの直売所があります。冬の農業は厳しいものがありますが、売り先が確保されているから数量的、収益的には多

九月に作成しています。冬のハウス栽培は、平成十三年度の千二百五十

九戸から、平成二十一年度は二千百六十二戸と一・七倍増加したとして

います。また、栽培一辺倒でなく、冬の農業体験、グリーンツーリズムについても推進して雇用の拡大、所得の確保につなげていければと考えます。

います。当町で冬の農業が施政方針に掲げられたのは十六年の冬期栽培、十八年の冬の農業までさ

かのぼりです。当町の冬の農業の現況は、どのようになっていますか。

問・現状を把握しながら今後は、こういう方向に持っていきたいという数値目標のようなものが必要になると思いますが、その点は、どう考えてい

か

また、栽培一辺倒でなく、冬の農業体験、グリーンツーリズムについても推進して雇用の拡大、所得の確保につなげていければと考えます。

問・市場を相手に販売するのであれば、品目を決めてグループ化を支援してほしいという農家の方の要望があります。支援はできますか。

です。

以前から、町長からも指示を受けています。規模がある程度大きくなればなるほど数量を確保できると考えられますので、県をはじめ関係機関と、生産者部会の方と話し合いながら検討していきたいと思

ますか。

ますか。

答弁・産業振興課長

答弁・産業振興課長



多くの買い物客が訪れる海の駅わんどのあじ・彩・感

特集

地区連合組織会長に聞く

舞戸地区編

防災活動の重要性を痛感

今後は避難路等の案内板を設置

五回にわたり掲載してきた特集「地区連合組織会長に聞く」は、今回が最終回。舞戸地区の活動について舞戸地区町内会連絡協議会会長の国谷正春さんにお話を伺いました。聞き手は、鶴田悦子 議会広報編集委員長（新）、事務局です。
なお、次号からは、新たな特集記事を掲載します。内容は未定ですが、人物にスポットを充てた内容にする予定にしています。お楽しみに。

Q はじめに舞戸地区の活動を教えてください。

A 一番大きな催しは、正月に舞戸公民館で開く新春ふれあい広場です。地区内の十四町内会から多くの人が集まり、楽し

いゲームなどを行って新春を祝います。ほかには、国道バイパスの花植えなどですね。

Q 新春ふれあい広場の予算は。

A 地区内十四町内会からの負担金と連絡協議会の自己資金をもって行っています。今年も、舞戸財産区からの助成もいただいています。

Q 防災に関する事業は行っていますか。

A やはり、防災については気に掛けています。中村川がありますから水害も考えなければなりません。昔の水害のときは、

として防災に関する事業を行っているのが現状です。

Q 今後の活動は。

A 舞戸地区は、観光スポットもありますので、その意味でも標高、あるいは避難経路を示した案内板を、目に付きやすいように人の目の高さに掲示する事業を行いたいと思っています。

Q 舞戸地区は、EM菌の環境浄化活動を先駆けて行っていましたか。

A 現在の事業としては、EM菌を培養して販売しているのですが、私の所の町内会では、今年EMだんごを作ることにしています。鶴田さんが所属する舞戸地区女性セミナーでもEMだんごを作って環境浄化に取り組むことにしているそうです。連絡協議会の事業としてセミナーと共同でできればと思います。

鶴田委員長 それでは、一緒にやりましょう。今日はどうもありがとうございました。

宮浜の自宅前でメートルくらい水が上がりました。それでも水害に関しては、被害は舞戸地区全域ということではなく、ある程度、限定的なものになると思います。それよりも地震とそれに伴う津波を今は一番心配しています。

ひとたび、津波が発生すれば高台を除く舞戸地区全域に被害が広がる可能性があり、人的被害も甚大なものになります。3・11のときは、私共の町内会でも、また、海岸部に住んでいる人でも避難しなかった人がたくさんいます。大きな地震が来たらすぐ避難するという意識改革の観点から保育所、小学校、スーパー、企業も含めた大規模な避難訓練をする必要があると感じています。ただ、昨年は、舞戸地区

国谷 正春さん

舞戸地区町内会連絡協議会会長、宮浜町内会会長

6月定例会 一般質問は6月12日・13日の予定

平成二十四年第二回定例会の日程（予定です。会期は、議会運営委員会最終的に決定することになります）は、次のとおりです。

一般質問は、六月十二日（火）、十三日（水）の予定（一般質問の人数により一日で終了する場合があります）です。今回の定例会は、新議員の体制になってはじめての定例会です。みなさんの多数の傍聴をお待ちしています。

●開会 六月八日（金）
●一般質問 六月十二日（火） 十三日（水）

●総括質疑 六月十四日（木）
●討論・採決 六月十五日（金）

※いずれも午前十時から開議予定となっております。